

平成22年度 (財)三菱UFJ信託地域文化財団助成事業

市民劇団「演劇やまと塾」 第10回公演 大和市文化祭参加

花咲く森で

原作／演出 中野智晴 脚本 水野昂子 雙田春枝 出演 演劇やまと塾・CANDY 他

森の中に集まった男女4人が
精霊や妖精の力により
生きる希望を見いだしていく



2010年
10/30 土 昼公演 13:30開場 14:00開演
夜公演 17:30開場 18:00開演

会 場 大和市生涯学習センターホール

(大和市深見西1-3-17)

料 金 前売り…1000円 当日…1200円
※高校生以下 前売り・当日共に500円 ※全席自由

問い合わせ 080-6771-4455 (やまと塾事務所)

E-mail engekiyamato@mail.goo.ne.jp

公式ブログ <http://blog.goo.ne.jp/engekiyamato/>

チケット販売所

●大和市スポーツ・よか・みどり財団事務所
☎046-260-5305

●大和市生涯学習センター
(市文化祭参加行事につき特待扱い) ☎046-261-0491

主催 市民劇団 演劇やまと塾

共催 大和市

後援 (財)大和市スポーツ・よか・みどり財团

ごあいさつ

市民劇団 演劇やまと塾 代表 佐竹 育子

本日のご来場まことにありがとうございます。

これまで、本公演は夏の盛りの八月に行っておりましたが、今年は大和市文化祭の一環として、芸術の秋にふさわしい十月公演となりました。

ご覧いただく「花咲く森で」の原作は、大和市在住で、版画家・映像作家である中野智晴氏の短編映画「人生は儚く陽炎のように」であり、映画制作に昨秋やまと塾は出演協力いたしました。この作品の舞台化を、やまと塾が提案し、塾生が脚本を書き、中野氏には演出担当をご快諾いただき、本日公演の運びとなりました。

また、大和市から共催を頂きました他に、(財)三菱UFJ信託地域文化財団からの助成も頂くことができ、心より感謝いたしております。平成18年10月に発足以来、本日の第10回公演まで、歩んでこられましたのも、多くの方々のご支援・ご声援のたまものと心よりお礼申し上げます。

現在・過去・未来にわたる「花咲く森で」の舞台をどうぞ最後まで、お楽しみくださいますよう、お願ひ申し上げます。

公演によせて

大和市長

大木 哲

市民劇団「演劇やまと塾」第10回公演おめでとうございます。

「演劇やまと塾」は演劇を通じて市民の心をつなぎ、地域ぐるみで文化をはぐくむ心を育てようと、公募によるメンバーの皆様により結成されました。その後、演劇に対する熱い思いを持つ有志の皆様により、今日まで活動を継続していらっしゃいます。その活発な活動は、本市の文化芸術振興に大きく貢献していただいており、深く感謝申し上げます。

舞台演劇の面白さは、セリフ回しや「間」の取り方などによる、様々な表現にあります。また、観客の方々の反応によって出演者の演技にも変化が見られ、それらを直接肌で感じられるのもその醍醐味のひとつであると思います。

本日ご出演の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を存分に發揮され、まさに生きた演技をご披露いただくことで、ご来場の皆様に感動を与える素晴らしい公演となりますようお祈りいたします。

この芝居の制作動機

演出 中野 智晴

まず、芝居を作った動機をお話します。以前、インターネットで知り合った人々の集団自殺が頻繁にニュースに取り上げられていました。そのニュースを見てこの人達は、一度も会ったことがないのに、その日に出会い、自殺を決行するまでに何を話していたのだろう？ これが、一番の動機です。

それをイメージしていったら、もし樹海の森の中でその自殺をしようとしている人達をみつけた樹海の精霊や妖精が、その人達に、もう一度生きる希望をもたせてあげる事ができたらよい話になるのではないかと思いました。

私も友人を自殺で亡くした事が有り、いまだに死の前の彼の言葉と、はにかんだ悲しそうな彼の横顔は忘れられないのです。この芝居が少しでもレクイエムとなればと思います。

スタッフ

原作／ 中野 智晴
脚本／ 水野 昂子・雙田 春枝 (やまと塾)
演出／ 中野 智晴
美術／ 上山 雅世
照明／ 谷川 裕俊
音響／ 香田 泉
作詞／ 中野 智晴
作曲・編曲・演奏／ はちべえ (隊長)
振付／ 荒川 倫也子
演出助手／ 比嘉 哲也・水野 昂子・雙田 春枝 (やまと塾)
舞台監督／ 今泉 馨
衣装／ 山口 優子
制作／ 佐竹 育子 (やまと塾)
制作補佐／ 上原 慶子・長尾 里美 (やまと塾)

キャスト

＊＊1の場面から5の場面 (全場面出場者)

・ 幸子／八木 里望 ・みどり／小井土 晶子
・ 泰三／比嘉 哲也 ・啓介／戸ヶ崎 正次

＊＊2の場面から5の場面出場者 若い精霊／福本 良治

1、森の中——自殺を図ろうとする人々の事情——

男子①／戸ヶ崎 満里 男子②／佐藤 克也
女子①／高田 佳奈 女子②／石田 柚香利 女子③／蓮沼 香那

工場長／中村 直人 従業員①／雙田 春枝 従業員②／水野 昂子
従業員③／長澤 純子 従業員④／長尾 里美

静子／上原 慶子 娘晴美／石田 柚香利 電話の声／佐藤 克也
霊グループ／佐藤 克也・高田 佳奈・蓮沼 香那・さくら・戸ヶ崎 満里
・雙田 春枝・水野 昂子・長尾 里美・中村 直人

2、森の精霊と妖精たち

長老の精霊／佐竹育子

森の妖精たち／橋爪 響希・佐藤 彩音・吉沼 楓香・下平 美幸
・石川 彩織・毛見 望愛・萩野 萌々香・前田 夏那・中澤 由依
・三室 うらら・茂木 樹里・中村 優咲・毛見 真大・橋爪 ひさ希
(以上CANDY) ダンス曲一「BEST OF MY LOVE」

3-(1) こんなにちは赤ちゃん

赤ちゃん幸子／お人形 母千佳子／橋爪 ゆき 文雄の父／佐藤 克也
文雄の母／長澤 純子

3-(2) 公園で遊ぶ親子

6歳の幸子／蓮沼 香那 母千佳子／橋爪 ゆき 父文雄／中村 直人

3-(3) 家族のいさかいと文雄の死

小学4年生の幸子／蓮沼 香那 母千佳子／橋爪 ゆき

3-(4) 幸子にあたる母

中学2年生の幸子／高田 佳奈 母千佳子／橋爪 ゆき

3-(5) 母に反抗する幸子

高校生の幸子／高田 佳奈 同級生の美香／さくら 母千佳子／橋爪 ゆき

3-(7) 看護士の幸子と美香

ナース幸子／八木 里望 ナース美香／さくら

3-(8) 幸子還暦の祝い

老幸子／水野 昂子 老みどり／雙田 春枝 老啓介／佐藤 克也
泰三の娘晴美／長澤 純子
幸子の長女(みゆき)／上原 慶子 その夫正／中村 直人 その子(ゆき)
／高田 佳奈 幸子の次女(文江)／長尾 里美 その子(れいな)／
蓮沼 香那／(祥太郎)／石田 柚香利

3-(9) 千佳子と幸子

母千佳子／橋爪 ゆき 幸子／八木 里望

4——妖精たちから授かる命

長老の精霊／佐竹育子

森の妖精たち／橋爪 韶希・佐藤 彩音・吉沼 楓香・下平 美幸
・石川 彩織・毛見 望愛・萩野 萌々香・前田 夏那・中澤 由依
・三室 うらら・茂木 樹里・中村 優咲・毛見 真大・橋爪 ひさ希

5生きる希望——フィナーレ（出演者全員）

テーマソング「愛を忘れないで」ダンス曲「HIGH SCHOOL MUSICAL」

- 福本良治・さくら・橋爪ゆき・戸ヶ崎正次・戸ヶ崎満里
- ダンスグループ CANDY (以上 市内在住の出演協力者)
- 石田柚香利・上原慶子・小井土晶子・佐竹育子・佐藤克也
- 雙田春枝・高田佳奈・長尾里美・長澤純子・中村直人・
- 比嘉哲也・蓮沼香那・水野昂子・八木里望 (以上 演劇やまと塾生)

演劇やまと塾第10回公演「花咲く森で」のテーマソング

中野 智晴 作詞

はちべえ（隊長）作曲・編曲・演奏

「愛を忘れないで」

1、何もしたくなくなった日々

すべてが色あせて見えた 日々

あの頃の自分が嘘みたい

ふと 空の青さを美しく感じる

部屋に迷い込んだ虫をいとおしく感じる

そう 生きてゆく喜びを見つけ出している

少しでいいから立ち止まってごらん

そして聴こえる あなたを愛した人たちの声が

思い出してごらん あなたを愛した人たちのことを

2、寂しくて寝返りをした日々

むなしくてため息をついた日々

あの頃の自分が嘘みたい

ふと 手のぬくもりを優しく感じる

道で声をかけられた一言を嬉しく感じる

そう 生きてゆく喜びを見つけ出している

少しでいいから立ち止まってごらん

そして聴こえる あなたを愛した人たちの声が

思い出してごらん あなたを愛した人たちのことを

3、こんなに素晴らしい世界があるのだから

一瞬でもいいから目を閉じてごらん

美しい音に溢れているのだから

そして聴こえる あなたを愛した人たちの声が

思い出してごらん あなたを愛した人たちのことを

そして聴こえる あなたを愛した人たちの声が

思い出してごらん あなたを愛した人たちのことを

市民劇団 「演劇やまと塾」の あゆみ

平成18年10月 新生市民劇団「演劇やまと塾」発足

① 平成19年8月 「春・夏・秋・冬」(市保健福祉センターホール)

② 平成19年11月 「あしたへ続く道」(市桜ヶ丘センター祭り参加)

③ 平成20年3月 「ターミナル(終着駅)」(りんぶん村の芝居小屋参加)

④ 平成20年8月 「CANVAS」(市生涯学習センターホール)

⑤ 平成21年3月 「GO FOR IT」(塾生作・りんぶん村の芝居小屋
参加とスプリングフェスティバル鶴見大会参加)

⑥ 平成21年3月 「十六 SIXTEEN YEARS OLD」

(県演劇博覧会参加・県地域演劇交流春フェスティバル鶴見大会参加)

⑦ 平成21年8月 「楽屋」「SEVEN BRIDGES」(生涯学習
センターホールと 横浜赤れんが倉庫・横浜開国博参加)

⑧ 平成22年3月 「夢の話」(脚本塾生・りんぶん村の芝居小屋参加)

⑨ 平成22年4月 「三国一の花嫁」(生涯学習センターホール
県地域演劇交流春フェスティバル大和大会参加)

⑩ 平成22年10月30日 本日 「花咲く森で」(原作／演出中野智晴
脚本塾生／市 生涯学習センターホール・市文化祭参加)

他に、

地区社会福祉協議会行事・地区コミセン行事・市福祉の集いに参加。市内老人施設訪問。旭区民ミュージカルや演劇集団「ひこばえ」他に出演協力。

今年9月・やまと自殺対策フォーラム第二部寸劇・詩・朗読でつづる「希望」
～～つながりを信じて～～に出演

● 市民劇団「演劇やまと塾は、」

大和市に根をはり、塾生の演技の向上をめざします。

楽しい舞台公演を行い、多くの方々に演劇の楽しさを知っていただき、支持を
いただける活動を継続いたします。

・ただいま 会員募集中です。演劇に興味をおもちのかたなら、どなたでも
歓迎いたします。賛助会員もサポートも募集中です。

お問い合わせ連絡先——080-6771-4455・佐竹育子
公式ブログ <http://blog.goo.ne.jp/engekiyamato/>